

(4) 救急搬送患者における連携先への転院率

分子：分母のうち、「救急搬送患者地域連携紹介加算」が算定された患者数

分母：救急搬送により入院した退院患者数

ただし、以下の場合を除外する。

・退院時転帰が死亡であった患者

収集期間：平成 23 年 7 月～平成 23 年 12 月

急性期病院の多くは救急医療を行っています。しかしながら、数多くの救急患者を受け入れる急性期病院が、そのすべての患者の入院治療に対応することは難しい場合もあります。そこで、救急を受け入れる病院が、地域の他の施設と連携して、例えば初期治療が一段落し、症状の落ち着いた救急患者のその後の入院医療を連携施設にまかせ、自施設はより重症の患者の治療にあたるといった、地域連携の仕組みが構築されています。診療報酬上もこのような連携が救急搬送患者地域連携紹介加算として評価されています。本指標は支合退院以外の救急搬送により入院した退院患者数のうち、当該加算を算定している患者さんの割合を算出し、各施設の救急医療における地域連携の状況の評価しようというものです。

指標 25：救急搬送患者における連携先への転院率

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
110201350	済生会川口総合病院	436		0.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	780		0.0%
160115667	済生会富山病院	621		0.2%
180118909	福井県済生会病院	391		0.3%
269700129	済生会京都府病院	375		0.0%
274900723	済生会富田林病院	156		0.0%
279600070	済生会中津病院	309		0.0%
279600120	済生会野江病院	521		0.0%
279600153	済生会吹田病院	586		0.0%
285001538	済生会兵庫県病院	170		0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	548		0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	1110		0.4%
438211911	済生会熊本病院	1784	31	1.7%
	合計	7787	37	0.5%